

喀痰吸引等研修（1号・2号） カリキュラム

基本研修（1号・2号共通）		
	科 目	時間数
講 義	人間と社会	1.5
	①介護職員と医療的ケア	0.5
	②介護福祉士等が喀痰吸引等を行うことに係る制度	1.0
	保健医療制度とチーム医療	2
	①保健医療に関する制度	1.0
	②医療的行為に関する法律	0.5
	③チーム医療と介護職員との連携	0.5
	安全な療養生活	4
	①喀痰吸引や経管栄養の安全な実施	2
	②救急蘇生法	2
	清潔保持と感染予防	2.5
	①感染予防	0.5
	②職員の感染予防	0.5
	③療養環境の清潔、消毒法	0.5
	④滅菌と消毒	1.0
	健康状態の把握	3
	①身体・精神の健康	1.0
	②健康状態を知る項目（バイタルサインなど）	1.5
	③急変状態について	0.5
	高齢者及び障害児・者の「喀痰吸引」概論	11
	①呼吸のしくみとはたらき	1.5
	②いつもと違う呼吸状態	1.0
	③喀痰吸引とは	1.0
	④人工呼吸器と吸引	2.0
	⑤子どもの吸引について	1.0
	⑥吸引を受ける利用者や家族の気持ちと対応、説明と同意	0.5
	⑦呼吸器系の感染と予防（吸引と関連して）	1.0
	⑧喀痰吸引により生じる危険、事後の安全確認	1.0
	⑨急変・事故発生時の対応と事前対策	2.0
	高齢者及び障害児・者の「喀痰吸引」実施手順解説	8
①喀痰吸引で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔保持	1.0	
②吸引の技術と留意点	5.0	
③喀痰吸引に伴うケア	1.0	
④報告及び記録	1.0	
高齢者及び障害児・者の「経管栄養」概論	10	
①消化器系のしくみとはたらき	1.5	
②消化・吸収とよくある消化器の症状	1.0	
③経管栄養法とは	1.0	
④注入する内容に関する知識	1.0	
⑤経管栄養実施上の留意点	1.0	
⑥子どもの経管栄養について	1.0	
⑦経管栄養に関係する感染と予防	1.0	
⑧経管栄養を受ける利用者や家族の気持ちと対応、説明と同意	0.5	
⑨経管栄養により生じる危険、注入後の安全確認	1.0	
⑩急変・事故発生時の対応と事前対策	1.0	
高齢者及び障害児・者の「経管栄養」実施手順解説	8	
①経管栄養で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持	1.0	
②経管栄養の技術と留意点	5.0	
③経管栄養に必要なケア	1.0	
④報告及び記録	1.0	
合 計（講義時間） ※1号、2号共通	50	
演 習	行 為	回 数
	口腔内の喀痰吸引	5回以上
	鼻腔内の喀痰吸引	5回以上
	気管カニューレ内部の喀痰吸引	5回以上
	胃ろう又は腸ろうによる経管栄養	5回以上
	胃ろう又は腸ろうによる経管栄養（半固形）※	5回以上
	経鼻経管栄養	5回以上
	経鼻経管栄養（半固形）※	5回以上
救急蘇生法	1回以上	

実地研修			
行 為	回 数	1号	2号
口腔内の喀痰吸引	10回以上	○	▲
鼻腔内の喀痰吸引	20回以上	○	▲
気管カニューレ内部の喀痰吸引	20回以上	○	▲
胃ろう又は腸ろうによる経管栄養	20回以上	○	▲
経鼻経管栄養	20回以上	○	▲

半固形栄養剤を実施する場合

行 為	回 数	1号	2号
口腔内の喀痰吸引	10回以上	○	▲
鼻腔内の喀痰吸引	20回以上	○	▲
気管カニューレ内部の喀痰吸引	20回以上	○	▲
胃ろう又は腸ろうによる経管栄養	10回以上	○	▲
胃ろう又は腸ろうによる経管栄養（半固形）	10回以上	○	▲
経鼻経管栄養	10回以上	○	▲
経鼻経管栄養（半固形）	10回以上	○	▲

※1号研修の実地研修については、○の全て。

※2号研修の実地研修については、▲のいずれか、もしくは希望する任意の組合せ。

※喀痰吸引については人工呼吸器装着者を含まない。
 ※胃ろう又は腸ろうによる経管栄養については原則、半固形栄養剤を含まない。ただし希望する場合は実施できる。

注) 演習は講義50時間内に含めないこと。

※胃ろう又は腸ろうによる経管栄養については原則、半固形栄養剤を含まない。ただし希望する場合は実施できる。